



『スターフライヤー Presents KitaQフェスIN TOKYO』は、11月25日・26日の二日間に渡り、東京千代田区アーツ千代田3331にて開催されました。公認レポーターには、福岡出身の人気モデル・金光みり愛さんが就任。KitaQフェス実行委員会の学生のみなさんと一丸となって、SNSで当日の様子を発信していました。
 (レポート記事：北九州市出身 エディター 石川優太)

(コンテンツ1) みんなで作ろう『北九州市の魅力再発見マップ』



写真は、KitaQフェス実行委員会のみなさんと公認レポーター・金光みり愛さん。
 「みんなで作ろう『北九州市の魅力再発見コーナー』」では、北九州市のマップに「父の実家」「熊西中」「マルシヨク・サンリブ」など、各々の思い出の場所を綴った付箋を貼りつけ、懐かしい気持ちを学生たちと共

有していました。同コーナーでは、北九州の環境マスコットキャラクター・ていたんのイラストが描かれた輪投げゲームも用意。子供から大人まで楽しめるコンテンツで充実しており、1日目の午後は波田陽区さん、2日目は金光みり愛さんとキタキュウマンが参加者にまぎれ、会場を盛り上げていました。

(コンテンツ2) 北九州グルメコーナー



グルメコーナーでは、小倉発祥の焼うどんや門司港発祥の焼きカレーはもちろん、折尾名物・東筑軒のかしわめし、小倉名物・揚子江の豚まん、シロヤのサニーパン、ふぐまん・のどぐろまんなどの人気メニューを販売。ほとんどの商品が完売するほど、グルメコーナーは参加者で溢れていました。改めて北九州グルメの魅力を再認識する結果に。東筑軒のかしわめし・シロヤのサニーパンの販売は、販売開始1時間前から100人を超える列ができ、予想以上の反響にパニックになるスタッフも... (笑)。

(コンテンツ3)



1日目、もっとも反響があった「あるあるCity 5周年記念 柏木由紀トークショー」。柏木由紀さんは、あるあるCity5周年記念アンバサダーとして登壇。トークショーで北九州の魅力について聞かれると、「(小倉) 駅の周辺が賑わっていて、美味しい食べ物があるし、ちょっと離れると自然もキレイで空気も違いますね。空気も食べ物も美味しい北九州が大好きです」と回答。あるあるCityに初訪問した際の印象については、「想像以上に漫画・アニメカルチャーが充実していて、定期的に遊びに行きたいです」とコメント。小倉駅周辺の印象やポップカルチャーの注目度の高さなど、北九州市ならではの話題も盛り上がっていました。

(コンテンツ4) 「元マイナビ編集長×学生」クロストーク



「地元に戻りたい？戻りたくない？」というテーマを軸に、元マイナビ編集長・栗田卓也氏とKitaQフェス実行委員の学生のみなさんと熱いトークを交わしました。「将来は地元に戻りたいか？」という質問に対する学生さんの意見は、意外にも戻りたい派・戻りたくない派の比率が50:50に割れる結果に。戻りたい派の女性の「将来、結婚や出産を考えると東京には住めない」という意見が印象的でした。対して、戻りたくない派の男性は「北九州の温かい空気が好きなので、東京で拠点にしつつ、多拠点移住という形で町に恩返しをしたい」という持論を展開。参加者が一体となって「U・Iターン」「地方移住」について考える場となりました。

(コンテンツ5) 「空の王子・空の王女コンテスト」



KitaQフェスのフィナーレを彩る「空の王子・空の王女コンテスト」でグランプリを飾ったのは、エントリーNo. 3・相馬南海さん。『行くっちゃ北九州☆』というタイトルのプレゼンでは、2017年流行語大賞にもランクインした「インスタ映え」などを課題の旅プランに盛り込み、会場審査員の心を掴みました。次いで準グランプリは、エントリーNo. 2・白石拓夢さん。審査員特別賞にエントリーNo. 6・藤川友香さんが選ばれました。

(全体を通して)



SNSで大人気！北九州市観光大使・キタキュウマンの撮影会を実施。老若男女、幅広い世代に親しまれ、撮影目的で参加した方もいらっしゃいました。

今回のイベントに参加したキタクユウマンは、「北九州出身の人は、どこにいても北九州が大好きな人ばかりですね」とコメント。



門司港発祥・バナナの叩き売り！ 1日2回、叩き売りを実施。どの回も参加者は20人越えで、「600円！」「もう一声！」といった声があがり、会場内はまるで北九州旅行を楽しんでいるかのような空気に。



日本遺産認定記念イベント「関門“ノスタルジック”海峡青春グラフィティ」では、津田大介さん・須藤元気さん・波田陽区さんがゲスト参加。講談師・田辺鶴遊師匠が、日本遺産として認定を受けた「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」のストーリーを“講談調”で語ると、来場者は話に引き込まれている様子でした。



ヨガクラス『Music power flow × yoga party!』では、DJ Satoshi Miyaさん、西浦莉沙さん（アクロヨガジャパン代表）、Maiko Kurataさんによる「音楽×ヨガ」の合同企画を実施。当日は多くの参加者で賑わっていました。



今回の目玉となる北九州市PRコーナー・企業紹介ブースは、一般の来場者をはじめ多くの企業関係者・転職希望者で賑わっていました。なかでも「北九州市 ふるさと納税」の返礼品に対して興味・関心を抱く参加者が多く、協賛企業への注目がいっそう高まったように感じました。

(総括)

北九州市が持つポテンシャルの高さを改めて感じたイベントでした。知っているようで知らない「日本文化遺産」をテーマにしたプログラムや会場内のカフェ「シャン ディヴァン3331」との北九州食材コラボメニューなどにより、いっそう北九州市の魅力に気づいてくれた方もいらっしゃるかと思います。将来的に北九州にUターンをしたいと考える人にとっては「新たなつながりつくるきっかけ」となり、Iターンを考える人にとっては「北九州“らしさ”を肌で感じられる貴重なイベント」となりました。「多拠点移住」という選択肢が常態化してきた今だからこそ、北九州市の魅力を再発見できる当イベントは、北九州の今後の街づくりに多大な貢献をもたらすのではないのでしょうか。